

タイで外国人旅行者の受入れが再開

タイでは11月1日から、一定の条件の下、外国人旅行者の受入れが再開し、久々の明るいニュースとなりました。日本を含む63の国と地域（12月7日時点）からの入国者を対象に、新型コロナウイルスのワクチン接種済み、事前のPCR検査での陰性確認、タイ入国後に再度PCR検査受検等の条件を満たした場合の、タイ入国時の強制隔離措置が1日間に短縮されました。

帰国時の各国の入国規制等で不便が残るため、以前の勢いの復活までには至っていませんが、新型コロナウイルスの影響で打撃を受けた経済の立て直しに繋がることが期待されています。

◆ スワンナプーム国際空港の様子

スワンナプーム国際空港では、到着した渡航者が、強制隔離用のホテルに向かう送迎バスに乗り込む姿が目立つようになりました。

タイでは、新型コロナウイルスの感染拡大以降、外国人入国が厳しく制限されたため、コロナ前は年間約4千万人だった外国人旅行者は、今年1～10月は約10万人に留まりました。規制緩和後の11月はひと月で7万人が入国しており、外国人受入れの更なる回復に、観光・飲食業界の期待が高まっています。



空港到着ロビーにもまだまだ余裕が

◆ バックパッカーの聖地、カオサン通りでは

首都バンコクでは、今回の入国規制の緩和に併せて、市中の行動規制も一部緩和され、午後11時までの店内飲酒が可能になりました。コロナ以前は外国人旅行者が集まる人気スポットだったカオサン通りでも、飲食を楽しんだり、大きなバックパックを背負って歩く外国人の姿が、少しずつ見られるようになってきました。

12月6日には、タイ国内でもオミクロン株の感染者が確認されましたが、首相からは、現状、規制の再強化は行わないとの発表がありました。ウィズコロナの下で観光大国の復活はなるのか、国民の期待と不安が入り混じっています。

(タイ・バンコク駐在 新妻 孝則)



まだ人通りは少ないカオサン通りのフォトスポット

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。